

日本生協連サステナビリティ推進部 地域・コミュニティ担当からのお知らせ

【1次案内】2019年度第5回公開セミナー「今、なぜ関係人口なのか？ ～生協の産直を通じた関係が地方と都市をつなぐ～」の開催案内

2020/2/13

担当：松原、前田

電話：03-5778-8135

Mail：chiiki-comm@jccu.coop

全国各地の生協で地域社会の問題やニーズに対応した取り組みが進んでいます。日本生協連では会員生協の事業・活動を通じた「地域連携」を活性化するとともに、共生社会づくりに向けた好事例の発信や生協間連携によって「地域での役割発揮の体制づくり・方針化」を支援していくことを目的として、連続公開セミナーを開催しています。

今回は「関係人口」というキーワードの意味をまず理解したいと思います。その上で、生協が商品を通じた産地との関係性をさらに強め、地方と都市をつなぎ、関係人口を創出することで、地域生協が地域社会づくりの役割を果たせないか探りたいと思います。

《獲得目標》

生協は本来、地域と共にあります。地域の人口が減ったり、消費力が減ることは当然、事業にも大きな影響を与えます。地域に仕事があり、経済的な地域内循環を進めるためにも、会員生協では広い視野で事業・活動をすすめる必要があります。もともと、生協は産直という産地との関係性をもち、商取引を超えたレベルでその関係性を築いてきました。

今回のセミナーは「関係人口」という言葉の意味を理解し、今一度、産直の意義を考える事例報告を受け、地方と都市を結びつけることにより、地方の活性化に向けて生協の果たす役割を考えたいと思います。

2. 開催概要

- (1) 開催日：2020年3月13日（金）13時00分～17時00分
- (2) 開催会場：渋谷のコーププラザビル（4階第2・3会議室 1階受付で受付をし、エレベーターで4階にお上がりください。

<https://jccu.coop/jccu/location/map-tokyo.html>

- (3) 参加対象者：生協関係者（経営幹部層、活動系担当者、産直担当者、他団体との連携担当者、活動担当理事）、農協関係者、他団体

(4) 申込について

締め切り：3月10日（火）までに下記のサイトから申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/cc5623cf98443>



(5) 規模：50名程度

(6) 参加費：無料

(7) 開催内容案

①基調講演：

◆テーマ案「新・関係人口入門」

※関係人口とは？また、最新の関係人口に関する事例を紹介いただき、生協産直活動の新しい視点の発見を探ります。

ソトコト編集長 指出一正さん

②講演：

◆テーマ「地方創生における関係人口の意義」

※行政のすすめる関係人口とは？また、自治体と協力して地域社会づくりにおける生協の役割を探ります。

内閣府 地方創生推進事務局参事官 得田啓史さん

③事例報告：

◆テーマ案「産直の意義の再確認～災害支援を通じて～」

※日ごろからの産直関係の意義を、災害支援を通じて再認識した事例の報告をしていただきます。

生活協同組合コープみらい・コープデリ生活協同組合連合会
コミュニケーション・CSR推進 統括部長(兼)
コミュニケーション推進部 部長 朽木 康之さん

- ◆テーマ「山形県・庄内地域におけるFEC自給ネットワーク構想の
取り組み ～産直・関係人口・移住～」
- ※長年の産直交流から生まれた産地との関係性から再エネ開発や
移住へとつながっていく構想について報告いただきます。

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 常務理事 伊藤由里子さん

- ◆テーマ案「農協と生協の協同の歩み ～震災のつながりから～」
- ※震災をきっかけとしたエフコープと JA ふくしま未来のつながりや
人的交流から産直商品の取引に至る過程について報告いただきます。

ふくしま未来農業協同組合（報告者調整中）

④コメンテーター

JCA 協同組合連携部 主任研究員 文珠正也さん

以上